

# 早

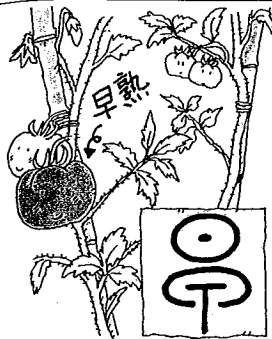
ソウ・サツ  
はやい・はや  
まる・はやめ

〔1年〕

6画  
一 冂 冂 日 旦 早

〔なりたち〕 日が地平線上に僅

(地) かに上がった形を表した字と見られるが、古い字形は、日と甲との会意字である。草木の芽のまだ殻に覆われた形の甲は「物の始め」の意味。「日の始め」である朝・早朝の意味を表した字である。



早  
早

# 早春

# 春

シユン  
はる

〔2年〕

9画  
一 三 夂 夫 春 春

〔なりたち〕 艸(草の本字)と屯

(草の芽の伸び悩む形)と日の会意形声字。草木が芽を出し始めるのは、春の季節を表した字。今の字形は、三と人と日である。人々が外出して日を浴び始める季節と考えられる。



春  
春

〔いみじくも〕

▼春：春の季節。  
春季：春の期間。  
春期：春の期間。  
例：春期演奏会。  
春日：春の日。  
例：春日遅々(春の日のうららかなで、のどかな様子)。  
立春：暦の上で春になったとされる日。  
春風：春の風。  
春秋：①春と秋。②一年。歳月。  
例：幾春秋。  
▼年の初め。正月。  
新春：新年。初春。  
▼血気盛んな年頃(二十)。  
青春：若い時代。人生の春。

# 東

トウ  
ひがし

〔2年〕

8画  
一 一 冂 冂 申 東

〔なりたち〕 木と日との会意字で、太陽が東の地平線にわずかに姿を現した形を表した字。日の出の方向の「ひがし」を表した。「ひがし」は「日向かし」の音便。「ひんがし」のつづまったものである。



東  
東

〔いみじくも〕

▼東：太陽の出る方向。  
東奔西走：東へ西へと、忙しく駆け回って活動すること。  
東方：自分から見て東の方。  
東国：東方にある国。特に昔の関東地方を指す。  
東都：東方の都。特に京都に於いて江戸(東京)をいう。  
東上：西の地方から東都へ行くこと。  
東洋：西洋(ヨーロッパ・アメリカ)に対して、トルコより東にある国々の総称。アジア、特にアジア東南部の国々。日本や中国など。  
近東：ヨーロッパに近い東方の国々。トルコなど。  
極東：ヨーロッパから最も遠い東方の国々。日本など。  
中東：近東と極東の中間の国。イラン・イラクなど。  
東宮・東経・東西

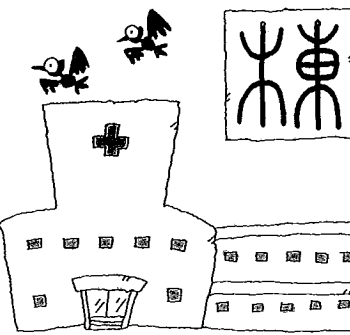
# 棟

トウ  
むね・むな

〔2年〕

12画  
一 木 木 木 棟

〔なりたち〕 東と木との会意形声字。家の最も高い所に、東から西に渡って置かれる木、「むな木(むね)」を表した字。「むね」とは「中心」という意味の言葉である。



棟  
棟

〔いみじくも〕

▼棟木(棟にする木)。  
棟梁(むね)：①大工の頭。②(棟木と梁)は家屋の構造上重要な部分であることから、一国の重任に当たる人。  
例：棟梁の器。  
上棟：棟上げ。家を建てる時、その骨組みが出来上がって最後に棟を上げること。この後、上棟式を行う。  
充棟：棟に充(る)ちる意味で、書物が棟に達する程多くあるということ。  
例：汗牛充棟(牛車に載せると牛が汗をかくほど、また、積み上げる)と棟にとどくほど、書物が沢山あること)。  
▼建物。家。  
別棟：棟が別になっている家の別の建物。  
病棟：病院で病室のある建物のこと。

# 東棟